令和2年3月19日

観光振興特別委員会資料

蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」（令和2年3月13日撮影）

1　令和2年八戸えんぶりについて

2　蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」について

3　八戸都市圏交流プラザ「8base（エイトベース）」について

4　VISITはちのへについて

5　八戸市観光統計について

商工労働観光部観光課

1　令和2年八戸えんぶりについて

1　えんぶり期間入込客数

月日	天候	2年		31年（参考）		主なえんぶり行事
2月17日	雨/曇	月	156,000	日	203,000	奉納摺り、一斉摺り、御前えんぶり、えんぶり公演、かがり火えんぶり、お庭えんぶり
2月18日	曇/暴風みぞれ	火	16,000	月	28,000	えんぶり公演、史跡根城えんぶり撮影会、かがり火えんぶり、お庭えんぶり
2月19日	曇	水	38,000	火	37,000	えんぶり一般公開、史跡根城えんぶり撮影会、かがり火えんぶり、お庭えんぶり
2月20日	晴/曇	木	40,000	水	38,000	えんぶり一般公開、かがり火えんぶり、お庭えんぶり
計			**250,000**		306,000	

初日のえんぶり行列と一斉摺りは前日から続く雨に見舞われ、18日のかがり火えんぶりでは、暴風を伴ったみぞれにより歌ステージは中止、1回目のえんぶり披露は大型テント内で行った。

後半は天候も持ち直し予定通りの開催となったが、前半の悪天候と期間を通して平日であったことも重なり、昨年と比べて56,000人の減となった。

2　市内各所でのえんぶり実演について

（1）　えんぶり in はっち

【日　程】　2月17日（月）～20日（木）
【場　所】　八戸ポータルミュージアム「はっち」 、マチニワほか
【内　容】　マチニワでのえんぶり披露、えんぶり衣装着付体験、トークイベント、ミニ烏帽子作り　など

（2）　南部会館えんぶり披露・一般開放

【日　程】　2月17日（月）～20日（木）　※えんぶり披露は期間外の2月15日（土）
【場　所】　南部会館
【内　容】　八戸えんぶり関連展示、南部食堂（飲食ブース）開設　など

（3）八食センターでのえんぶり披露

【日　程】　2月17日（日）～20日（水）
【場　所】　八食センター内（くりやホール・厨ホール、北広場・南広場）
【内　容】　えんぶり披露

かがり火えんぶり（2/18　1回目）

マチニワでのえんぶり披露

2　蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」について

1　オープン日について

令和2年4月17日（金）
※4月18日（土）、19日（日）は「蕪嶋まつり」開催

蕪島物産販売施設
Kabushima Marketplace
かぶーにゃ
Kabunya

シンボルマークとロゴ

2　オープニングセレモニーについて

（1）日時　　令和2年4月17日（金）　午前10時
（2）場所　　蕪島物産販売施設前
（3）内容　　テープカット、アトラクション、お振舞い等

※新型コロナウィルス感染症の状況等を見ながら、延期や内容の見直し等について検討するものとする。

（参考）

事業者名	鮫蕪島物産販売合同会社　代表社員　杉本健一 ※鮫観光協会、鮫町振興会など地元団体等で構成
機能	物産販売、飲食提供、休憩所、トイレなど
取扱品目	【土産品等】　水産加工品、缶詰、菓子、グッズ、地元野菜等 【飲食メニュー】　鯖ご飯、浜鍋、そば、こんにゃくおでん等 ※今後更にメニューを充実させる予定
開館時間	10時～17時（4月～10月） 10時～16時（11月～3月）
定休日	火曜日（10月～3月）、12月29日～1月3日

施設外観

休憩コーナー

販売コーナー①

販売コーナー②

３　八戸都市圏交流プラザ「8base（エイトベース）」について

１「8 base」ロゴについて

事業者からの提案をもとに、圏域町村からの意見も踏まえ、「8 base」のロゴを次のとおり決定した。

EIGHT BASE

■デザインコンセプト
八戸圏域の「八」と「８」を組み合わせるともに、「八戸」をシンボル化したもの。
店舗の内装イメージである「蔵」の切妻屋根もモチーフにしている。
シンボルは、筆文字のような力強さを持つ特徴的なものに、ロゴタイプはシンプルで読みやすくクールな印象のものにすることで、伝統とモダンを融合したものとしている。

■使用例
のれん、ショップバッグ、ナプキン、スタッフユニフォーム、ショップカード、パンフレット、ホームページ等

２「8 base」ホームページ　について

「8 base」の各種飲食メニューや特産品等の紹介のほか、店内で開催されるイベントやフェア等の情報を発信することで、「8 base」への来店を促すため、ホームページを開設した。

■一部公開　令和2年2月28日（金）
トップページのみ公開

■本公開　令和2年3月31日（火）
6月末の開業に向けに適宜情報を更新

URL　https://www.8base.jp/

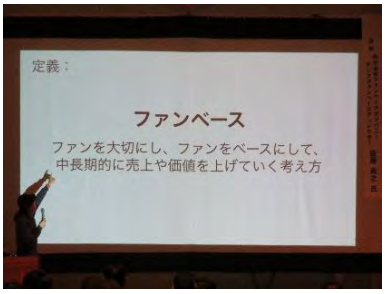
4　VISITはちのへについて

最近の動き

1 「まるで、ワンダーランド。」セミナー・異業種交流会

観光誘客及び物産振興に関する人材育成を目的に特別セミナーを開催。また、セミナー後に事業者間マッチングを目的とした異業種交流会を開催。

(1)日時場所　令和2年1月28日(火)15:30～　ユートリー1階大ホール
(2)概　要
①セミナー(参加者:152名)
テーマ:「顧客に愛される新しいコミュニケーションの仕組み～ファンベース～」
講　師:㈱ファンベースカンパニー チーフファンベースディレクター　佐藤尚之氏
②異業種交流会(参加者:78名、ブース出展者:9社)
出展者より有利な融資・保険制度や各企業紹介について情報提供するなど、参加者とのマッチングの創出を図った。



ファンベースについて講演する佐藤尚之氏

異業種交流会の様子

2　物販商流事業(地域商社事業):首都圏プロモーション

(1)試験輸送(12月4日、12月13日(2店舗)、1月31日、2月25日)
八戸圏域の野菜、農水産加工品、地酒など、当圏域の魅力ある地場産品を段ボールに混載して首都圏飲食店等へ試験輸送
◎主な輸送品
五戸産長芋・ごぼう・人参・むかご、田子産にんにく、南部太ネギ、干し菊、郷のきみ、神経〆ヒラメ、イワシのアヒージョ(水産加工品)、八戸美保野ポーク生ハム、八戸ワインなど
(2)首都圏プロモーション(2月4日)
試験輸送を行った食材を活用、かつ地場産品生産者(田子にんにく生産農家)も同行し飲食店シェフに対し、地場産品の試食及び商材紹介を行い認知度向上等を図った。

首都圏プロモーションの様子

3 ヤフー株式会社本社での八戸フェア

首都圏における地場産品の販路拡大・認知度向上を目的に、当市の誘致企業であるヤフー株式会社の本社において、八戸フェアを以下のとおり開催。

(1)日　時　令和2年2月5日(水)・6日(木)
(2)場　所　ヤフー株式会社　社内レストランBASE11
　　(東京都千代田区紀尾井町)
(3)概　要　八戸圏域の水産加工品・地酒・菓子など、圏域の地場産品の販売を行い、魅力発信、認知度向上を図った。
　　また、今後の首都圏向けの情報発信ツールとしてLINEを活用すべく、登録を促す取組を実施した。

ヤフー株式会社での八戸フェアの様子

4 イギリス・フランスメディアツアー

イギリス・フランス2か国のメディア等9社を八戸えんぶりの時期にあわせて招聘。
2か国での記事露出等による八戸圏域の認知度向上等を図るため、(株)八幡平DMO、(一社)十和田奥入瀬観光機構と連携し広域周遊の観点も取り入れながら、当圏域等の魅力ある自然、食、歴史等コンテンツを実際に体感いただいた。

(1)日 時:令和2年2月15日(土)～2月20日(木)※イギリスメディアは19日まで
(2)主な圏域取材先
　①八戸市:八戸えんぶり、種差海岸、櫛引八幡宮、みろく横丁、陸奥湊駅前朝市、八食センター
　　八戸酒造(酒蔵見学)
　②南部町:南部利康霊屋、いちご狩り
　③三戸町:小山田煎餅店、割烹白山
　④田子町:田子町ガーリックセンター
※その他、十和田市(十和田市現代美術館等)、八幡平市(酒蔵見学等)を取材

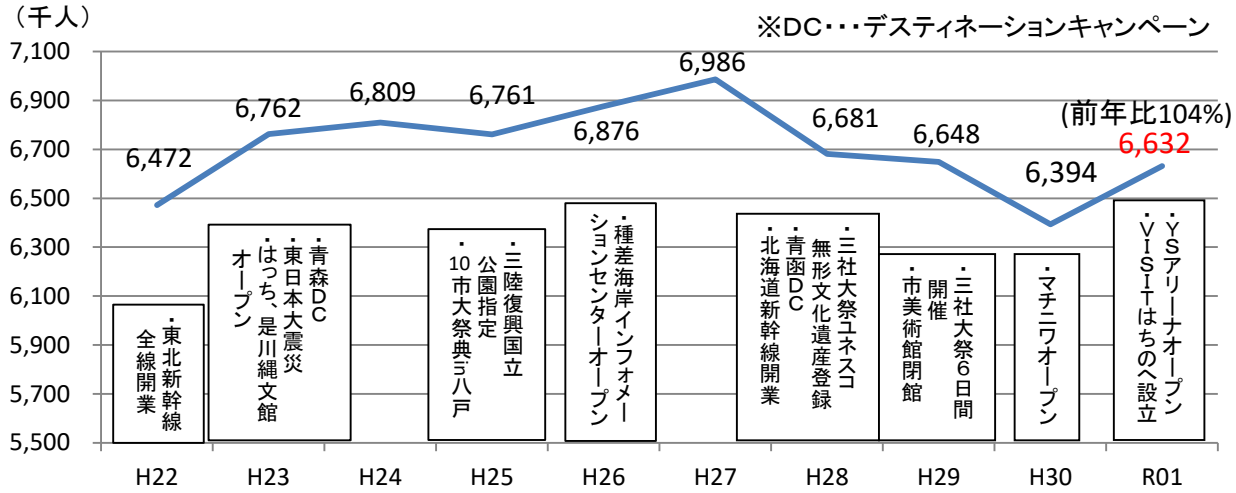
メディアツアーの様子

5　八戸市観光統計について

年間統計

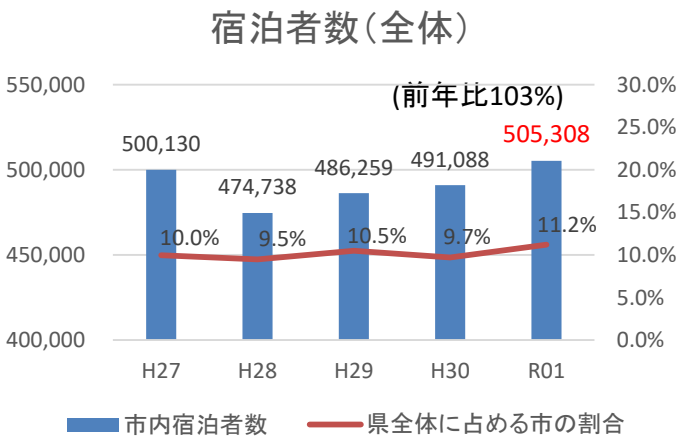
※令和元年は速報値

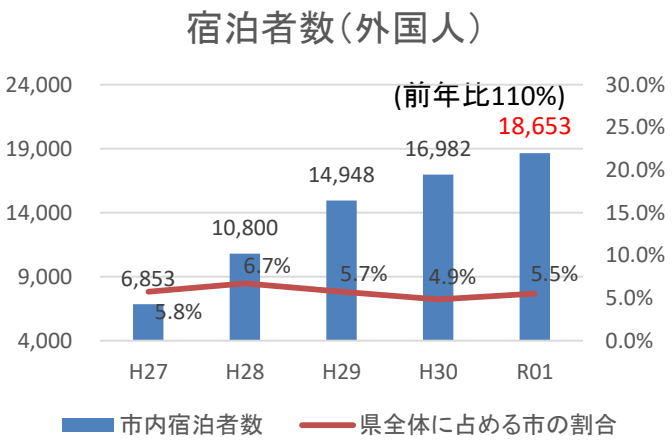
○観光入込客数（観光地点入込で行催事・イベント入込は含まず）



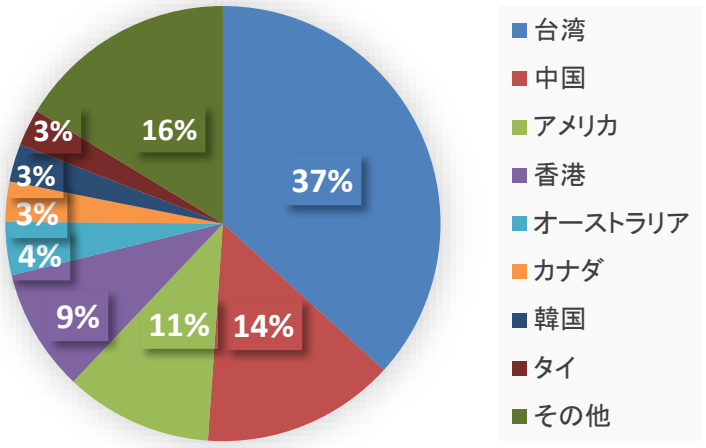
○宿泊者数

※八戸ホテル協議会調べ（市内18宿泊施設　※平成27年は20宿泊施設）





令和元年　外国人宿泊者　国・地域別内訳

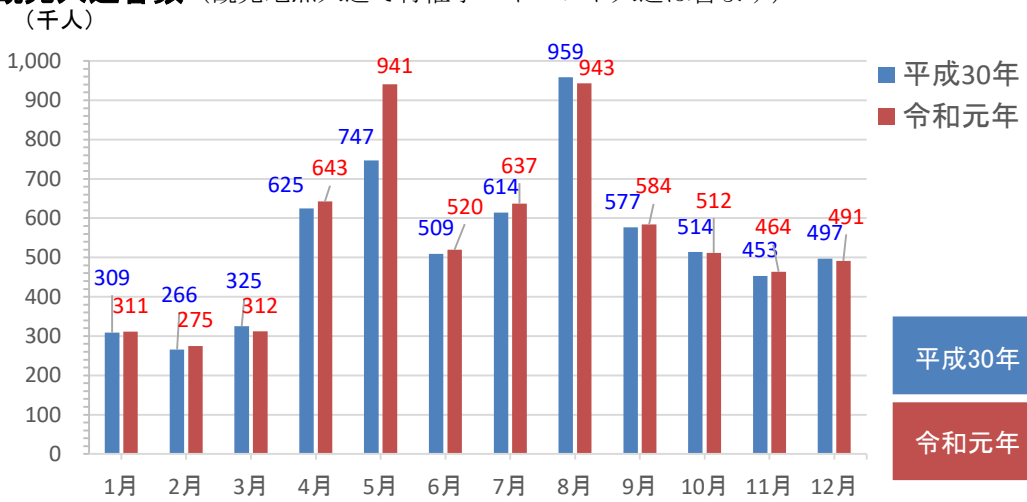


5　八戸市観光統計について

月間統計

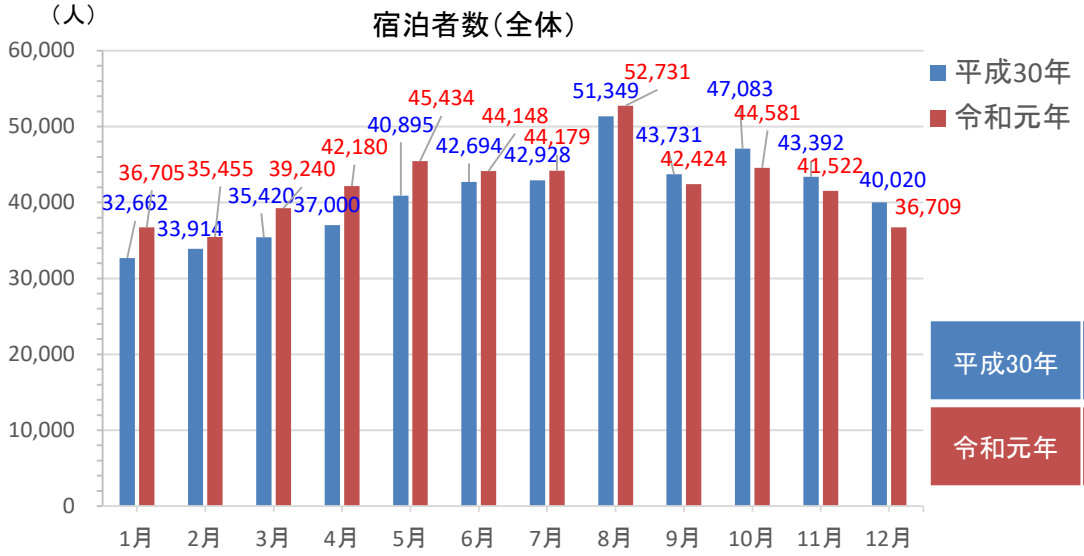
※速報値

○観光入込客数（観光地点入込で行催事・イベント入込は含まず）

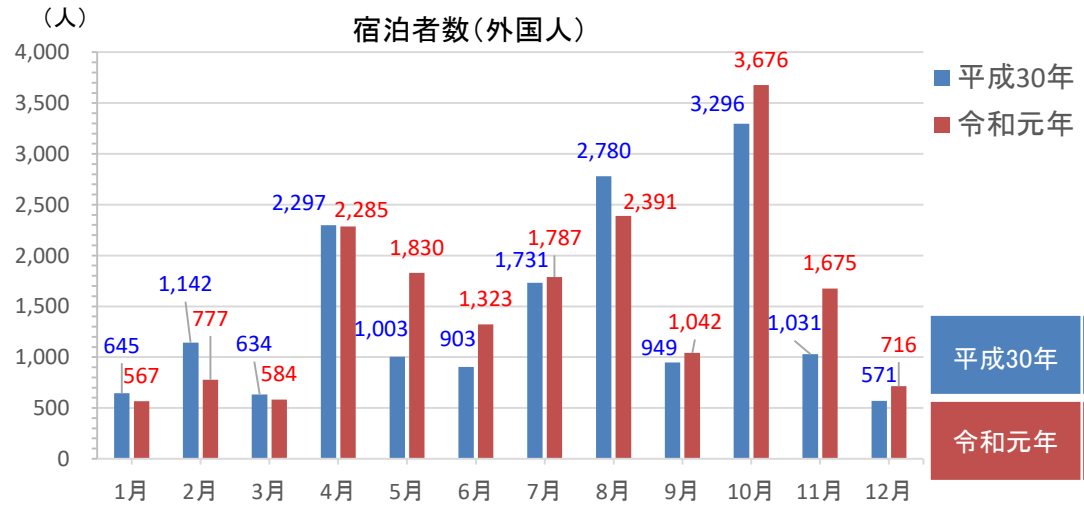


平成30年	6,394,237人
令和元年	6,631,881人 （前年比104%）

○宿泊者数　※八戸ホテル協議会調べ（市内18宿泊施設）



平成30年	491,088人
令和元年	505,308人 （前年比103%）



平成30年	16,982人
令和元年	18,653人 （前年比110%）